



あいおいニッセイ同和損保は
日本パラリンピック委員会を
応援しています。

2014年度の障がい者スポーツ支援活動について

～Beyond2020 障がい者スポーツの発展を目指して～

2014年8月5日

MS&ADインシュアランスグループのあいおいニッセイ同和損害保険株式会社(社長：鈴木 久仁、本社：東京都渋谷区恵比寿1丁目28番1号)は、行動指針として掲げる「地域密着」のさらなる実現に向け、障がい者スポーツ支援を実施しています。

その一環で2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた社内プロジェクトチームを組成、同時に、金融機関として初となる日本パラリンピック委員会とのオフィシャルパートナー契約を締結しました。

当社は、2006年より車椅子バスケットボール日本代表チームのオフィシャルスポンサーとして活動を支援しています。その経験を活かし、2020年に向けて障がい者選手がさらに活躍できる環境づくりに貢献すること、そして、2020年以降も障がい者スポーツへの応援の輪が全国に広がり定着することを目指した理解・普及活動を実施していきます。

当社が2014年度に実施・予定している活動は以下の通りです。

1. 日本パラリンピック委員会の活動支援

当社は、2014年5月1日付で日本パラリンピック委員会とのオフィシャルパートナー契約を締結しました。オフィシャルパートナーとして同委員会の活動を積極的にサポートしていきます。

2. 当社役職員の理解および普及に資する活動

当社役職員に対し障がい者スポーツへの理解の輪を広げることが重要と考え、社内行事などでパラリンピック選手による講演やパラリンピック写真展を実施しています。

2014年7月には本社エントランスホールでパラリンピック写真展を開催し、本社の役職員に理解を促すと共に、たくさんの来客者にもご覧いただきました。今後は、こうした取り組みを全国に広げ、全ての社員が共通認識を持つことを目指します。



<本社エントランスホールでの写真展>

3. 障がい者スポーツ大会への応援

我が国の障がい者スポーツの大きな課題の一つに観客の動員があります。当社は、障がい者スポーツ大会の応援により、勇気と感動を共有したいと考えています。今年度はジャパンパラ競技大会を中心に応援に参加します。直近では、8月10日に開催されるジャパンパラ競技会 ゴールボールへの応援に約80名の社員の参加を予定しています。

今後は、全国各地の当社社員が積極的に応援に参加します。

4. 障がい者の方々とのスポーツ交流支援

(公財)日本障がい者スポーツ協会・日本パラリンピック委員会と連携して、障がいを持つ子どもたちと、楽しみながらスポーツに触れる機会を創出します。

当社は、2014年8月に開催される日本パラリンピック委員会主催の選手発掘事業にも協賛しています。

5. 当社「地域 AD 倶楽部」を通じて障がい者スポーツを応援する活動

当社が全国を 15 のエリアに分けて運営する情報ネットワーク「地域 AD 倶楽部」*を通じて、地域のお客さま・行政・商工会議所・マスコミ・大学・金融機関・企業・代理店など向けに、障がい者スポーツへの理解を促進していきます。障がい者スポーツに関わる講演活動、写真展示などにより機運を高め、障がい者スポーツを各地域で応援する態勢をつくります。

*地域 AD 倶楽部…情報の提供・企業交流・地域貢献の 3 つの柱で、地域の皆さまのお役に立つ活動を行っています。具体的には各種セミナーや異業種交流会、環境保全・防災防犯・各種チャリティー企画などを開催するほか、エリア毎にホームページを設置し、サイトやメールニュースにより地域に密着した情報やビジネス情報を提供しています。

6. 障がい者スポーツ特設ホームページの立ち上げ

障がい者スポーツの特設ホームページを立ち上げ、障がい者スポーツ支援の活動報告とともに、支援の機会を得られなかったお客さま・代理店・役職員にその臨場感に触れる機会を創出していきます。

7. 障がい者スポーツ選手の採用

日本パラリンピック委員会の意向に基づき、(公財)日本オリンピック委員会が運営・管理する「アスナビ」に登録し、今年度より障がい者スポーツ選手の就労支援を行っていきます。

8. 障がい者スポーツ競技に関する支援

これまでパラリンピックをはじめ多くの国際大会で活躍してきた車椅子バスケットボール日本代表チームへの支援を継続します。

また、ボランティアなどによるジャパンパラ競技大会の開催支援や、選手育成に関する支援も強化する予定です。

以上